

日本刀の見方

パートⅢ 刃文

令和三年四月十七日(土)～七月十一日(日)



宮本武蔵《眠り布袋図》(刀剣博物館蔵)

刃文を見る(基礎編)

1 □ 脇指 銘 越後守包貞

五四・五 撰津 江戸時代前期 個人蔵

小乱れ

2 ○ 太刀 銘 友成作

九六・〇五 備前 平安時代末期～鎌倉時代初期 刀剣博物館

3 ○ 太刀 銘 真景

七九・二 伯耆 平安時代末期 刀剣博物館

直刃

4 □ 太刀 銘 相州住綱広

七七・九 相模 室町時代後期(二五四八) 個人蔵

(附)皮包鉄造太刀拵

5 ○ 太刀 銘 雲次

七四・一 備前 鎌倉時代末期 個人蔵

丁子

6 刀 無銘 一文字

六六・四 備前 鎌倉時代中期 刀剣博物館 ※1

7 ◎ 太刀 無銘 福岡一文字

七七・一 備前 鎌倉時代中期 刀剣博物館 ※2

8 刀 (金象嵌銘) 助真

七二・一 備前 鎌倉時代中期 刀剣博物館

9 刀 銘 備前長船住横山祐包作

七二・四 備前 江戸時代末期(一八六四) 刀剣博物館

元治元年八月日 友成五十八代孫

のたれ

10 刀 銘 津田越前守助広

七一・一 撰津 江戸時代前期(一六六七) 刀剣博物館

寛文七年八月日

11 ■ 脇指 無銘 伝正宗

五七・五 相模 鎌倉時代末期 個人蔵

備前国長船兼光

貞和三年十二月日

互の目

13 ○ 短刀 銘 兼友

二八・二 美濃 南北朝時代 刀剣博物館

14 刀 無銘 長船倫光

七三・〇 備前 南北朝時代 刀剣博物館

15 刀 銘 源清磨

八一・〇 武蔵 江戸時代後期(一八五二) 刀剣博物館

嘉永五年二月日

尖り刃

16 □ 刀 銘 兼元 六七・七 美濃 室町時代後期 個人蔵

17 刀 銘 武蔵守藤原兼中 越前住 七三・九 越前 江戸時代前期 個人蔵

皆焼

18 ○ 太刀 銘 長谷部国信(号からかしわ) 七九・四 山城 南北朝時代 個人蔵

19 ○ 脇指 銘 相模国住人広光 貞治三年三月日 三四・四 相模 南北朝時代(二三六四) 個人蔵 ※1

20 ◎ 脇指 銘 宇都宮大明神 相模国住人広光 八幡大菩薩 文和五年卯月日 三二・一 相模 南北朝時代(二三五六) 個人蔵 ※2

個別の刃文

21 脇指 無銘 光忠 五三・〇 備前 鎌倉時代中期 個人蔵

22 刀 銘 村正 六二・一 伊勢 室町時代後期 刀剣博物館

23 太刀 銘 藤島友重 六〇・九 加賀 室町時代前期 個人蔵

24 ■ 脇指 銘 越中守正俊 四三・二 山城 桃山時代 個人蔵

25 刀 銘 肥後守国康 七五・四 摂津 江戸時代前期 個人蔵

26 刀 銘 津田越前守助広 延宝九年八月日 七六・二 摂津 江戸時代前期(二六八一) 刀剣博物館

27 □ 脇指 銘 同作彫之長曾祢興里虎徹入道 寛文元年霜月廿五日 四九・七 武蔵 江戸時代前期 個人蔵
(金象嵌)山野加右衛門六十四歳永久(花押)
脇毛貳ツ胴度々三ツ胴截断

28 刀 銘 備前介藤原宗次作之 七〇・八 武蔵 江戸時代末期(二八五九) 刀剣博物館
応斎藤利紀需
安政六年二月日

29 刀 銘 眠龍子寿実 文化八年八月日 六五・七三 武蔵 江戸時代後期(二八一) 靖国神社遊就館

刃文を見る(発展編)

沸・匂

30 刀 銘 辻村越中守藤原高平(花押) 元和八年三月三日 六九・四 加賀 桃山時代(一六二二) 刀剣博物館

働

31 □ 脇指 銘 長谷部国信 三〇・二 山城 南北朝時代 刀剣博物館

No. 名称

時代

所蔵

刃文を作る

32 土置き道具

33 土置きサンプル

刃文を考える

34 水心子正秀肖像

35 刀剣実用論

36 古今製作刀剣辨疑

刃文を科学する

刃文を記録する

37 観智院本銘盡(複製)

38 金物目術書

39 鍛冶平細田平次郎藤原直光押形

40 押形作成資料一式

※都合により展示物は変更する場合がございますので、ご了承ください。

個人蔵
刀剣博物館

刀剣博物館

刀剣博物館

刀剣博物館

刀剣博物館

刀剣博物館

刀剣博物館

刀剣博物館

次回展覧会

2021年度
現代刀職展
今に伝わる
いにしえの技

令和3年7月17日(土)
9月20日(月・祝)



刀剣博物館
The Japanese Sword Museum

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
〒130-0015 東京都墨田区横綱1-12-9
お問い合わせ: TEL03-6284-1000
<https://www.touken.or.jp/>

